

既設副ダムの継続活用

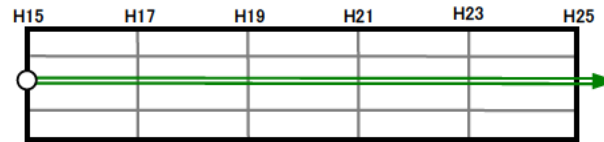
●具体的な整備内容

- ・既設の副ダムを継続して活用する。

●事業費

●スケジュール

— 実施



●事業の数量・諸元等

●整備効果

- ・水質保全: 流入汚濁物の沈殿除去により水質浄化を図る(布目ダム)
- ・容量保全: ダム貯水池への流入土砂の軽減を図る(布目ダム)
- ・親水性機能の向上: 水位の一定な水辺を作ることにより水とふれあうレクリエーション空間を創る(布目ダム)

●提案理由(代替案含む)

副ダムは、水質保全の目的以外にも、貯水池内に流入する土砂を軽減できる。また副ダムに堆積した土砂を定期的に浚渫することで、ダム機能の延命が図れる。

副ダムにおいて浚渫した土砂をマタニ土捨場に仮置きしているが、今後の捨て土容量を考えると早急な対策が必要とされる。また、ダムによる土砂移動の連続性の遮断が、下流河川の一部区間で河床材料の変化を招き水生生物の生息環境に影響を与えているところもある。そこで、浚渫土砂を有効利用する策を講じるとともに、河床の改善や復元を図るよう検討する必要がある。(布目ダム)

既設副ダムの継続活用

委員会等からの意見

河川の水質保全対策(淀川の汽水域、淡水域)は、底質モニタリングを実施し、改善対策等をさらに検討する必要がある。
ダイオキシン類等の微量有害化学物質の問題は、あらゆるところで生じている重要問題であることから、全流域について検討するべきである。

進捗状況

・引き続き、室生及び布目ダムで副ダムの浚渫の継続実施予定。

堆砂除去の実績(布目ダム)

平成4年度～平成16年度の間に約89,000m³の堆積土砂を搬出

進捗状況

状況写真(ない場合はイメージ図あるいは図面)



室生ダム堆砂除去状況

今後の見通し

副ダムの浚渫を継続実施予定